

群馬県立高崎東高等学校 学 校 評 価 一 覧 表 ①（令和4年度版）

（様式1）

羅 針 盤			方 策	第 1 回 点 検・評 価			第 2 回 点 検・評 価			
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改 善 策	自己評価	外部アンケート	改 善 策	
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1. 現行の授業形態に満足している生徒が、70%以上である。	・学年・教科の実態に応じて英語・数学・国語の一部で習熟度別又は少人数授業を実施する。							
		2. 総合的な探究の時間に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が、70%以上である。	・「総合的な探究の時間」において、将来の社会生活で必要とされる「課題発見解決能力」を身に付けさせる。各学年のテーマに沿って、自己の生き方・在り方と課題とを関連付けて探究させ、成果をまとめさせる。							
		3. ボランティア活動に従事する生徒が20%以上である。	・校内・校外でのボランティア活動への取組を積極的に推進し、活動報告を集約する。							
		4. 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	・安心して楽しく気持ちよく過ごせるホームルーム、授業、学校行事、部活動の確立のために、生徒一人一人の取組や様子を把握する。							
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	1. 授業アンケートを年2回実施し、授業改善に生かしている。	・1・2学期終了後に、生徒による授業評価を実施する。そして、その結果を指導の工夫・改善に活用する。							
		2. 学校作成のシラバスや定期的な進捗計画の指示が学習に役立っていると答える生徒が70%以上である。	・家庭学習の計画を指導するとともに、定期的に進捗や学習のポイントを確認させる。							
		3. 論理的に読解し、自らの意見を表現する力を育て、進路実現の基盤となる読書活動を推進することで、学校図書館における一日平均の貸出冊数を20冊以上とする。	・「LIBRARY」、「おすすめの一冊」、「図書館報」を活用して、読書活動の推進を図り、読書習慣の確立と定着を目指す。							
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	1. 学習内容の定着を図り、全校生徒の一日平均の家庭学習時間が2時間以上である。	・面談や各種調査結果などにより、学習・生活習慣についての指導・助言をする。家庭学習時間を確保できるような課題の提示、授業の予習・復習を促すなど、学年・教科が連携をとりながら継続的に指導する。							
		2. 実用英語技能検定2級合格者が10人以上、準2級合格者が50人以上である。	・実用英語技能検定合格へ向けた指導を組織的・計画的に行う。							
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	1. 生徒会活動が充実していると評価する生徒が80%以上である。	・スポーツフェスティバル、文化祭等の企画や運営に主体的に取り組ませる。							
		2. 人権に関わる授業を、年2回以上実施している。	・人権教育に関わる指導を、LHR(全校集会)や総合的な探究の時間で行う。							
		3. 部活動が充実していると評価する生徒が、70%以上である。	・大会の結果や顕著な文化活動等について随時報告することで、部活動への意欲や興味関心を高める。							
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	1. いじめの防止に努め、いじめの解消率が100%である。	・いじめ防止に関わる指導を、全校集会やLHRで行う。 ・いじめ悩みアンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。							
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	1. 家庭と連携を取りながら指導し、基本的生活習慣を確立させることで遅刻をなくす。一日平均の遅刻者数が、全校生徒数の1%以下である。	・家庭と連絡を取りながら、クラス・学年・生徒指導部が連携してきめ細かな継続指導を行う。遅刻の多い生徒には、遅刻指導を行う。						
			2. 部活動に加入している生徒が、80%以上である。	・知的好奇心や人間性、精神的なたくましさを育てる部活動に積極的に加入するよう、各種のオリエンテーションを実施する。						
	3. コロナ感染拡大防止対策として、毎朝各家庭で健康観察を行い、健康観察記録表に記録し、登校時に持参する生徒が100%である。		・コロナ感染拡大防止のため毎朝、検温測定を行う。							
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について、適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	1. 学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、70%以上である。	・進路関係の情報提供や進路通信(各学年)の発行により、進路意識の高揚を図る。							
		2. 進路関係の行事が役立っていると評価する生徒が、70%以上である。	・進路講演会・大学訪問・模擬授業・長時間学習会など、主体的な進路選択につながる行事の企画・運営を行う。							
		3. 生徒の将来の志望について理解している保護者が、70%以上である。	・三者面談の実施で担任との連携を強め、保護者への進路情報の提供も積極的に行う。							
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	1. 「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について考えている生徒が、70%以上である。	・キャリア教育・進路探究学習の充実を図る。							
		2. 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	・進路指導室の環境整備をすすめ、生徒の積極的な利用を促す。進路目標の設定・目標実現のため、生徒に応じた指導・助言を行う。							
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭や地域社会に、積極的に情報発信をしていますか。	1. PTA総会や学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、70%以上である。	・PTA総会や学年保護者会の案内通知が、確実に保護者の手元に届くように(ホームルームで)指導する。併せて、保護者への案内を一斉メール配信で行う。							
			・PTA総会に合わせて授業公開や学年(学級)懇談会等を実施し、内容を充実させることで参加率を上げる。							
		2. 学校のホームページを、月3回以上更新している。	・ホームページ更新を簡略化し、係以外でも積極的に新しい情報を提供する。							
		3. 「学校の様子がよく分かる」と回答している保護者が、70%以上である。	・PTA総会や学年(学級)懇談会、学校評議員会、文化祭等の行事に合わせて、授業や学校行事の公開を行う。							
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	1. Chromebook等を活用し授業を行うことができる教員が100%である。	・ICTの活用事例を教員間で共有し、授業等で積極的に活用するように促す。							
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	2. アンケートなどの各種調査を行った際、回答率が80%以上である。	・授業アンケート、学習時間調査などを行う。 ・中学生向け公開授業などの参加申し込みでICTを活用する。							